

第4回松阪市環境基本計画策定委員会

日時 平成18年1月12日(木) 13時30分～15時30分



場所 松阪市教育委員会1階会議室

議題

- (1) 事務局あいさつ
- (2) 飯南地域の生ゴミ堆肥化処理システムについて
- (3) 環境基本計画「『現況と課題』整理結果」の説明
- (4) 自然環境に関する現況と課題のまとめ
- (5) 生活環境に関する現況と課題のまとめ
- (6) 快適環境に関する現況と課題のまとめ
- (7) 地球環境に関する現況と課題のまとめ
- (8) (教育・学習)環境に関する現況と課題のまとめ
- (9) その他
- (10) 環境基本条例について
- (11) 次回委員会について

出席者 10名

策定委員会委員 7名

西 孝、石川通子、石村武紀、川村敏也、小坂滋子、水本和雄、松本美智

事務局 3名

三田環境推進担当主幹 谷岡環境推進担当主査 若山環境推進係主任

質疑等の内容

- (1) 事務局あいさつ
- (2) 飯南地域の生ゴミ堆肥化処理システムについて
 - ・飯南地域では飯南地域住民グループが中心となり、行政も加わって生ゴミの堆肥化処理を行っている。
 - ・衣装ケースと山土、米ぬか、落ち葉など身近な材料で、家庭でも簡単にできる。

- ・ 2次処理に必要な場所は、飯南地域振興局内の駐車場に設置。建設費も安く抑えられた。
- ・ 出来た肥料は大変質もよく、野菜作りに最適。
- ・ 振興局近くの欲しい方（自分で作るのは難しい年配の方など）には、無料で分けている。
- ・ 飯南地域では、捨てられる生ゴミの量がかなり減少。
- ・ 以上のことから、是非とも市民に広めてほしい。

(3) 環境基本計画「『現況と課題』整理結果」の説明

- ・ 今までの会議で出てきた意見に、市民アンケートの結果を加え、事務局で簡潔にまとめたものを資料として配付。
- ・ 鈴鹿市、瑞浪市の例のように、最終的に「現況と課題」の形でまとめていきたい。
- ・ 今回は、それぞれの項目チェックをお願いします。

(4) 自然環境に関する現況と課題のまとめ

○ 森林保全、山へのゴミ不法投棄の問題、河川清掃、下水道・浄化槽問題など。

- ・ 森林に関しては、ボランティア、NPO、企業の協力も得て、皆で取り組んでいくべき。
- ・ EM菌投入により、河川の浄化を図る。しかし、海にどういった影響を及ぼすのか現時点ではわからないため、本当に川にEM菌を入れても良いのかどうか。

(5) 生活環境に関する現況と課題のまとめ

○ 騒音・悪臭などの典型7公害、都市生活型公害など。

- ・ 昔は良かった野焼きが今はダメ、というのは納得できない。
- ・ 例外はあるものの、ダイオキシンの問題から原則的に野焼きは禁止。
- ・ 草を燃やすぶんならよいのでは？田舎の情景の一つだと思う。
- ・ 害になるものを燃やさないよう、しっかりした基準が必要では。

○ 道路の渋滞問題、公共機関の利用、ゴミ問題など。

- ・ 訓練、習慣づけなどによる、分別の徹底が必要。
- ・ 他のゴミステーションへ捨てて行く人がいて困っている。

- ・家庭への粗大ごみの収集をして欲しい。

(6) 快適環境に関する現況と課題のまとめ

○ 歴史・文化施設、景観など。

- ・インター近くの看板は、業者が自主的撤去の方向で進めているように思われる。

○ 公園・緑地問題、バリアフリー、まちの美化など。

- ・中川駅にも松阪駅のように、無料の自転車置き場を作って欲しい。

(7) 地球環境に関する現況と課題のまとめ

○ オゾン層破壊、CO2 排出規制、森林伐採、省エネなど。

- ・野焼きなどによるダイオキシンの発生について、市民の関心が高い。

(8) (教育・学習) 環境に関する現況と課題のまとめ

○ 環境学習と仕組みづくり

- ・小・中学生の方が環境問題に対する意識が高い。

- ・市の遊休施設などを、リサイクル学習センターなどとして活用できるように行政に願
いする。

(9) その他

委員：「環境基本計画」は一般市民に配られる場合、こういった形になるのか？この
ままでは分かりにくい。

事務局：今日配付したものは、あくまでも参考資料という形。予定では、小学4年生に
は漫画などを取り入れた4~5ページの、環境学習の副読本になるような冊子を
配布し、市民や公共施設には10ページくらいに分かりやすくまとめた概要版
を、と考えている。また、自治会には回覧板で計画作りを知らせていき、全市
にアピールできるよう計画していきたい。

委員：委員として携わった私たちとしては、早期実現の方向で、我々市民の立場で行
政の方にも協力を得て、一つでも実施できることを多く計画立てていかなくて
はいけないと思う。

委員：新エネルギーとして、焼却炉の熱利用は？

事務局：今は焼却炉の下の集会所で、湯沸かしとして利用している。
ゴミの減少を図っている現在では、焼却炉を使った施設の建設・維持は難しい。

委員：靴などは埋め立てているけど、燃やした方がいいのでは？

事務局：ダイオキシンとかの問題から燃やさない方がいい。

委員：発泡スチロールのような、土に戻らないものはなるべくやめるようにするべき。

委員：三重県が昨年3月に策定した「ゴミゼロ社会実現プラン」では、20年間で3割のゴミ削減を目標にしている。私たちの計画もそれに沿って作っていけばよいのでは。

(10) 環境基本条例について

- ・「環境基本計画」を作っていく上で、その基本ともなる「環境基本条例」の仕組み、及び基本理念を事務局より説明。
- ・それらを踏まえて「環境基本計画」を作ることを再確認。

(11) 次回委員会について

- ・次回は、2月2日13時から。
- ・場所は、飯南地域の堆肥化处理システムを見学するため、飯南地域振興局にて。